

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineering Seminar Ⅱ)		
ナンバリングコード	R30402	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001213	クラス名	木村研究室
担当教員名	木村 智		
履修上の注意、履修条件	大学院の研究活動の一環として、論文作法を学びながら、論文執筆を演習形式で行います。また、建築史に関する基本的な知識や、質疑応答時に積極的な発言をすることが求められます。		
教科書	授業内で受講学生に合った教科書を適宜指定します。		
参考文献及び指定図書	参考著書などを適宜紹介します。しかし、研究に必要な資料を自分で見つけ出すことも今後必要な能力なので、受け身にならず自分で探し出す作業も惜しまず行ってください。		
関連科目	建築史学特論A・B		

○基本情報	
授業の目的	建築史研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させることが求められます。自分で調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力の構築を目指します。
授業の概要	これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自が最も興味を持つ分野を選び、教員の指導のもとで論文を完成させます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	研究テーマに対し、自分なりの問題設定をすることができる。他の人の発表についても関心を持ち、積極的に質問できる。			20点
【知識・理解】	建築史研究に関する総合的知識の習得とそれを展開することができる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	分析・考察した内容を適切な表現媒体で適切に表現することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	研究の目的に即した調査方法と分析方法を選定し、学びながら実行することができる。研究計画を立て、それに即して実行し、締め切りに合わせてまとめ上げることができる。		20点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。</p> <p>[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。</p> <p>[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。</p> <p>[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>※前期末・後期末にそれぞれA4用紙4枚程度の小論文を描いてもらいます。</p>

○その他
フィードバックは適宜行います。

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineer)	授業コード	M001213
学修内容				
1. ガイダンス、研究テーマの紹介 西洋近代建築史の範囲の中から、各学生において独自のテーマを設定します。また、タイムスケジュールも設定します。				
予習	卒業研究もしくは卒業設計のテーマ設定、年間予定表の作成と発表準備。			約2時間
復習	テーマの明確化とそのための文献調査、実地調査の計画と実施等。			約2時間
2. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、受講しているメンバー同士で討論します。その結果を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
3. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、ゼミのメンバーで討論します。その結果、を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
4. テーマの検討 各自で設定したテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、ゼミのメンバーで討論します。その結果、を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。場合によってはテーマ設定そのものを見直します。				
予習	各自のテーマに基づく調査や制作についての経過報告のための発表準備。			約2時間
復習	卒業研究もしくは卒業設計のための文献調査や実地調査の継続。			約2時間
5. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
6. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
7. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
8. 研究方法の決定 既往研究の調査から読み取れた研究対象を調査・分析する方法を決定します。				
予習	研究対象の調査・分析方法の検討を行う。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineer)	授業コード	M001213
学修内容				
9. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
10. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
11. 調査結果の分析 調査結果を分析します。				
予習	調査した内容の分析を行い、その結果をパワーポイントなどで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
12. 論文の作成 研究した内容を論文にまとめていきます。				
予習	研究内容を論文形式でまとめる。その一部を発表するための準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
13. 論文の作成 研究した内容を論文にまとめていきます。				
予習	研究内容を論文形式でまとめる。その一部を発表するための準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
14. 授業内発表会の準備 研究した内容をパワーポイント等を用いて発表する準備を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
15. 研究内容の発表 夏季休業前にA4用紙4枚程度の小論文を作成してもらい、その内容について発表します。				
予習	研究内容の発表の準備をする。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
16. 前期のまとめ 前期の研究活動を振り返り、問題点を見出して後期の活動に活かします。				
予習	前期の活動を反省して、修正した箇所を列記する。夏季休暇中の活動計画を立てる。			約2時間
復習	指摘箇所を改善し、下記休暇中の活動計画の再検討を行う。			約2時間

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineer)	授業コード	M001213
学修内容				
17. テーマの再検討 論文のテーマを何にするかの最終的な決定を行います。				
予習	論文における問題意識や調査したいことを報告する準備を行う。			約2時間
復習	決まった方向性について、再度問題意識やコンセプトなどの再検討を行う。			約2時間
18. 研究テーマの再検討 各自が考えるテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、その内容についてゼミのメンバーで討論します。その結果を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	自分で行いたい研究に関する既往事例の調査を行う。			約2時間
復習	発表内容の反省、授業内で指摘を受けたことに対する補足の調査をおこなう。			約2時間
19. 研究テーマの再検討 各自が考えるテーマに沿って調査もしくは制作した内容をプレゼンテーションしてもらい、その内容についてゼミのメンバーで討論します。その結果を踏まえて、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	自分で行いたい研究に関する既往事例の調査を行う。			約2時間
復習	発表内容の反省、授業内で指摘を受けたことに対する補足の調査をおこなう。			約2時間
20. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
21. 既往研究の調査 検討したテーマに関する既往研究を調査して、その内容について発表してもらいます。				
予習	研究テーマに関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究テーマの研究目的、方法の検討。			約2時間
22. 研究方法の決定 研究対象を調査・分析する方法を決定します。				
予習	研究対象の調査方法の整理して、自分で行いたい研究に合う調査方法を検討する。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間
23. 分析結果の報告 調査結果を分析し、その結果を報告します。				
予習	調査内容を分析し、その内容をパワーポイントやレジュメで発表できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間
24. 分析結果の報告 調査結果を分析し、その結果を報告します。				
予習	調査内容を分析し、その内容をパワーポイントやレジュメで発表できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所を修正する。不足する部分は追加の調査を行う。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineer)	授業コード	M001213
学修内容				
25. 分析結果の考察 分析結果を考察して、結論としてまとめた内容を説明してもらいます。				
予習	分析結果の考察を行い、結論としてまとめたものを説明できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
26. 分析結果の考察 分析結果を考察して、結論としてまとめた内容を説明してもらいます。				
予習	分析結果の考察を行い、結論としてまとめたものを説明できるようにする。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
27. 論文の作成 研究した内容を論文形式にまとめていきます。その途中経過を発表してもらいます。				
予習	分析・考察の結果を論文の体裁で文章でまとめる。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
28. 論文の作成 研究した内容を論文形式にまとめていきます。その途中経過を発表してもらいます。				
予習	分析・考察の結果を論文の体裁で文章でまとめる。			約2時間
復習	指摘を受けた箇所の修正。補足の調査を行う。			約2時間
29. プレゼンテーションの準備 研究発表会に向けて、梗概とパワーポイントを作成して、発表練習を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
30. プレゼンテーションの準備 研究発表会に向けて、梗概とパワーポイントを作成して、発表練習を行います。				
予習	研究内容をパワーポイントで発表できるようにまとめる。			約2時間
復習	指摘箇所の修正を行う。			約2時間
31. 研究発表会での発表 研究発表会を開催し、その中で発表します。				
予習	完成された論文に基づく発表資料の作成。			約2時間
復習	各自の研究成果と発表で指摘された内容から、改めて自分と研究した建築について考察する。			約2時間
32.				
予習				
復習				